

コープやまぐち組合員賞 いきいきサロンたかね “ハンドベルの会”

代表者 高井 邦子（地域づくり分野／山口市）

活動の動機・目的

地区住民の人たちのつながりを深めるため、地区のいきいきサロンを高齢者から赤ちゃんまで、すべての人を対象としたサロンとして立ちあげた。そのスタッフが会の企画運営だけでなく、スキルアップや社会参加の活動もしていこうと「ハンドベルの会」と名付け、会議の後、ハンドベルを練習していたが、現在は他の様々な活動に取り組む。

活動の内容

①いきいきサロンの運営（隔月に1回開催）。

○企画内容を決めるため、毎月1回スタッフ会議を実施。＝「ハンドベルの会」

スタッフは自治会長、福祉員、老人クラブ会長、男性有志の会「熊野会」会長、ボランティアスタッフ（地区在住の人、定年退職者でUターンしてきた人に呼びかけ）。

○内容は、「ハンドベルの演奏」や「おじさんズ」のギターの伴奏に合わせて歌う。

他にも「ときめきファッションショー」、「トウガラシ魔除け作り」、「こけ玉作り」、「なつかしいあやとり」、「地域の駐在さんのおはなし」、「季節の行事」等。

毎年恒例は、「干支づくり」

地区在住の陶芸作家の方に指導いただき、一人ひとり色んな表情に出来上がる。

○地区の人に良く知ってもらうため、毎回、各班ごとに回覧で参加者を募集している。

②子ども会との行事も開催。

○夏休みカレーライス会食会。ゲームも実施。部活帰りの中学生もお腹を空かせてやってくる。

○夏休みラジオ体操に大人も参加（実施日を回覧で知らせる）。

子どもたちが地域の中で、多くの大人とふれあいながら成長していくことを大切にしている。

③市や地域の行事にボランティアとして参加。

ねんりんピック、地域祭り、地区文化祭他。

※田舎でも少子高齢化、また共働きの家庭がほとんどで、地域のつながりの希薄化を懸念していた。また情報の共有化もなくなっていた。そこで、いきいきサロンを企画運営することで、地域の人たちをつなぎ、一緒に活動の場を広げながら地域に発信していきたいと願って活動を続けている。

これからめざしたいこと

子どもたちや地域の人たちとの交流が進んできたことが成果。夏休みのカレー会食は、共働きの親からも喜ばれている。

「高根地区に住んでよかった！」と言ってもらえるよう、そして「みんなで手をつないで一緒に齢を重ねていこう」を合言葉に無理せず、楽しく活動していく。



ハンドベルの演奏



夏休み子どもたちと一緒に
王様じゃんけんゲーム